

有機栽培による生きもの保全への取組み

《南陽市》

地区名	生き物の名前	生き物の主な活動場所				生き物の主な活動時期
		水田	水路・ため池	その他	状態	
南陽市漆山	クモ類（アシナガクモ等）	○	—	—	きれい	7月下旬～8月下旬

保全活動に取り組んでいる場所



【数人でチームを作り、田んぼの中に柵を設置し、調査しています】



【網ですくい取った虫の種類を確認しています】



南陽市内にある農業生産法人では、有機栽培などの環境にやさしい農業を行っており、年間12回程度、水田とその周辺環境の生きもの調査を行っています。

- ◆8月中旬の調査では、稲の玄米を加害する斑点米カメムシ類のすくい取り調査を行ったほか、カメムシ類を捕食するクモ類の生息状況を確認しました。
- ◆農業技術普及課では、今後も地域の生きもの調査に協力し、環境保全に向けた取組みを支援していきます。

市の環境保全計画の名称等	計画における保全生物
エコエリアなんよう推進方針	クモ類、トンボ類、カエル類等

問い合わせ先	置賜総合支庁 農業技術普及課
	TEL:0238-57-3411 FAX:0238-57-3414